

- エ 施設・設備等の活用法
- オ 格技の指導と安全対策
- ② 特別活動等における格技指導の研究実践
- ア クラブ活動の指導計画、指導組織

- イ 部活動の計画と指導
- (3) 研究実践期間 3年間
- (4) 対象推進校
各都道府県から推薦された公立の中学校及び高等学校

(5) 推進校一覧

種別	管内	市町村教委	学校名	校長名	指定年度	研究主題
格技指導	県北	福島市	信陵中	橋谷田 千代士	58～60	——教科体育における格技指導をととして—— 「生徒が意欲的に学習に取り組む柔道の指導」
	会津	金山町	第一中	阿部 制	59～61	生徒理解を深め、ひとりひとりの学習意欲を高める指導法～楽しく参加できる格技(柔道)の指導のあり方～
	福島県立福島東高等学校			大槻 進	58～60	生徒ひとりひとりに対して興味を持たせ、かつ、技能を高めるための効果的な格技(柔道)の指導はどうあるべきか

4 集団・安全行動推進校の指定 (県教育委員会)

(1) 趣 旨

児童・生徒の能率的な学習を促し、安全な行動の習慣化を図るため、集団の一員としての約束や規則を遵守し、規律ある行動が安全且つ敏速にできるよう教科指導はもちろん、学校教育活動全体を通し、更に地域社会との連携を密にし、行動様式の工夫及び具体的方法等を研究実践する。

(2) 研究実践内容

- ① 集団・安全行動のねらい、意義の設定
- ② 集団・安全行動の指導計画の設定
- ③ 集団・安全行動様式の整備
- ④ 集団・安全行動の生活化
- ⑤ 上記についての評価

(3) 研究実践期間 3年間

(4) 対象推進校

地域を勘案して、各教育事務所から推薦された公立の小学校及び中学校とする。

(5) 推進校一覧

種別	管内	市町村教委	学校名	校長名	指定年度	研究主題
集団安全行動	県中	常葉町	常葉中	長谷川 正	59～61	望ましい集団・安全行動ができるようにするための指導はどうあればよいか。～日常実践活動を通して～
	相双	広野町	広野小	渋佐 重良	59～61	子どもが生きる集団安全行動 ～自ら考え、自ら判断し、自ら行動できる子をめざして～

5 学校訪問

(1) 目 的

県立学校を訪問し、保健体育の学習指導・体育施設整備等の実態に接するとともに、必要に応じて相談、助言、指導等を行い、もって保健体育の充実を期する。

(2) 訪問の日程 (半日)

- ① 学校長よりの事情聴取 (20分)
- ② 諸表簿の閲覧 (30分)
- ③ 授業参観 (50分)
- ④ 体育施設・設備参観 (30分)
- ⑤ 研究協議 (50分)

(3) 提出資料

当日の日程表、学校要覧、学習指導案、生徒の体格、体力に関する資料、当面する問題点並びに質疑事項

(4) 訪問校並びに訪問者

月・日	曜	区分	学 校 名	訪 問 者	
				指 導 主 事	指 導 委 員
5・22	火	午前	会津中央	小野育也	
6・20	水	午後	須賀川女子	〃	
6・26	火	〃	磐城女子		若松 功
6・27	水	午前	湯 本	小野育也	
7・3	火	午後	福島農蚕		七島 藤雄
9・6	木	〃	浪 江		齋藤 武
9・7	金	午前	小高商業	小野育也	
9・20	木	午後	矢 吹		門 沢 寛
9・28	金	〃	保 原	小野育也	
10・2	火	午前	白河実業	〃	
11・5	月	午後	会 津		矢部 則夫
11・13	火	〃	船 引	小野育也	
11・14	水	午前	郡山女子	〃	